

令和 8 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 現代の国語

教科: 国語 科目: 現代の国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

使用教科書: 教科書: 現代の国語【大修館書店】
副教材: 常用漢字ダブルクリア五訂版【尚文出版】、新訂総合国語便覧2026【第一学習社】

教科	国語	の目標:
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上や社会生活の充実を図る態度を養う。	

科目	現代の国語	の目標:	
【知識及び技能】	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
単元 1 言葉のなかに生まれる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				5
	【知識及び技能】 言葉には認識や思考を支える働きがあることなど、社会生活における言葉の働きや役割を理解する。	・指導事項 言葉を学ぶことの意義を理解させる。			【知識及び技能】 言葉には認識や思考を支える働きがあることなど、社会生活における言葉の働きや役割を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する	・教材 教科書等	○	○	【思考力・判断力・表現力】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 人と言葉、社会と言葉との関係についてあらためて考え、言葉の学びに向かう。	・一人1台端末の活用(場面) 課題配信等			【学びに向かう力、人間性等】 人と言葉、社会と言葉との関係についてあらためて考え、言葉の学びに向かうとしている。				
単元 2 水の東西	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				7
	【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用する。	・指導事項 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。			【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについての確にとらえ、要旨や要点を把握する。	・教材 教科書等	○	○	【思考力・判断力・表現力】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについての確にとらえ、要旨や要点を把握している。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえる。	・一人1台端末の活用(場面) 課題配信等			【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説									1
単元 3 伝えるように話す	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				3
	【知識及び技能】 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解する。	・指導事項 話し言葉の特徴を理解させる。			【知識及び技能】 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】 話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話す。	・教材 教科書等	○	○	【思考力・判断力・表現力】 話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整する。	・一人1台端末の活用(場面) 課題配信等			【学びに向かう力、人間性等】 話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。				
単元 4 わかりやすく書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				3
	【知識及び技能】 書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解する。	・指導事項 書き言葉の特徴を理解させる。			【知識及び技能】 書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】 目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んで書く。	・教材 教科書等	○	○	【思考力・判断力・表現力】 目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んでいる。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性等】 目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整する。	・一人1台端末の活用(場面) 課題配信等			【学びに向かう力、人間性等】 目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。				
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説									1

1 学期

令和 8 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 現代の国語

教科: 国語 科目: 現代の国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

使用教科書: 教科書: 現代の国語【大修館書店】
副教材: 常用漢字ダブルクリア五訂版【尚文出版】、新訂総合国語便覧2026【第一学習社】

教科	国語	の目標:
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上や社会生活の充実を図る態度を養う。	

科目	現代の国語	の目標:			
【知識及び技能】	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説									1
単元 9 理解を深める質問をする 【知識及び技能】 相手の回答を必要に応じて一般化したり、具体的な内容に掘り下げたりする。 【思考力、判断力、表現力】 「話すこと・聞くこと」において、論理展開を予想しながら質問し、聞き取った相手の回答を整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 論理展開を予想しながら相手の話を整理する中で、自分自身の質問のしかたについて積極的に振り返る。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 相手の話を引き出す質問を考える。 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題配信等	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 相手の回答を必要に応じて一般化したり、具体的な内容に掘り下げたりしている。 【思考力・判断力・表現力】 「話すこと・聞くこと」において、論理展開を予想しながら質問し、聞き取った相手の回答を整理している。 【学びに向かう力、人間性等】 論理展開を予想しながら相手の話を整理する中で、自分自身の質問のしかたについて積極的に振り返ろうとしている。	○	○	○	5
単元 10 贅沢を取り戻す 【知識及び技能】 根拠の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 本文における根拠と主張との結びつき方について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読む。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味させる。 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題配信等	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 根拠の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 本文における根拠と主張との結びつき方について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読む。	○	○	○	6
単元 11 説得力のある資料をつくる 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 効果的な表現や資料の提示の仕方を考える。 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題配信等				次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。				3
単元 12 資料を用いて発表する 【知識及び技能】 話の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解する。 【思考力、判断力、表現力】 資料を効果的に用いて、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 熱意をもって自分の考えを伝えるために、話の展開や構成を工夫したり、効果的に資料を用いたりする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 聞き手の心を動かす話し方を工夫させる。 ・教材 教科書等 ・一人1台端末の活用(場面) 課題配信等				次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 話の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 資料を効果的に用いて、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 熱意をもって自分の考えを伝えるために、話の展開や構成を工夫したり、効果的に資料を用いたりしている。				4

3 学期